

公益社団法人日本地震工学会 第 58 回理事会議事録

A.日時： 2022 年 6 月 17 日（金） 16 時 00 分～19 時 30 分

B.場所： ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）清野純史、（副会長）東 貞成、藤田 聡、松岡昌志

（担当理事）西村拓也、小林実央、古屋 治、山田岳峰、入江さやか、多幾山法子、鳥澤一晃、池田隆明、能島暢呂、市村 強、楠 浩一、近藤伸也、井上和真、小檜山雅之

（監事）五十田博、末富岩男

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長、小松康典事務局長、石井衣織事務局長

D.議題および提出資料：

議題

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) 役員の自己紹介（全員） | 資料 58-01 |
| 2) 今年度理事会体制と役員の分掌（西村理事） | 資料 58-02 |
| 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（西村理事） | 資料 58-03 |

報告事項

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1) 第 57 回理事会議事録（案）確認（西村理事） | 資料 58-04 |
| 2) 第 10 回社員総会議事録（案）確認（西村理事） | 資料 58-05 |
| 3) 臨時理事会議事録（案）確認（西村理事） | 資料 58-06 |
| 4) 令和 4 年度事業計画（西村理事） | 資料 58-07 |
| 5) 令和 4 年度予算（古屋理事） | 資料 58-08 |
| 6) 会務報告（西村理事） | 資料 58-09 |
| 7) 会計報告（古屋理事） | 資料 58-10 |
| 8) 総務部会からの報告（西村理事） | 資料 58-11 |
| 9) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料なし |
| 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事） | 資料 58-13 |
| 11) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事） | 資料 58-14 |
| 12) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事） | 資料 58-15 |
| 13) 論文集編集委員会からの報告（能島理事） | 資料 58-16 |
| 14) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事） | 資料 58-17 |
| 15) 2022 年度大会に関する報告（楠理事・市村理事） | 資料 58-18 |
| 16) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 58-19 |
| 17) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 58-20 |
| 18) スペシャルアドバイザー出張講演報告（小林理事） | 資料 58-21 |
| 19) メール審議（2 件）結果報告（西村理事） | 資料 58-22 |

議案

- | | |
|-------------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（小林理事） | 資料 58-23 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱（西村理事） | 資料 58-24 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（西村理事） | 資料 58-25 |
| 第 4 号 新規研究委員会の設置（松岡副会長） | 資料 58-26 |

懇談事項

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1) 津波荷重体系化委員会成果報告会について（松岡副会長） | 資料 58-27 |
|-------------------------------|----------|

- | | |
|--|----------|
| 2) 電子投票システムについて（山田理事、事務局） | 資料なし |
| 3) 防災推進国民大会 2022 の出展者公募について（池田理事、西村理事） | 資料 58-29 |
| 4) 地震学会との共同記念事業の窓口担当理事の選出について（東副会長、西村理事） | 資料 58-30 |
| 5) 学生会員研究室パック割および賞の副賞創設案について（西村理事） | 資料 58-31 |
| 6) 今後の予定について（西村理事） | 資料 58-32 |

E.議事録：

議題

- 1) 役員の自己紹介（全員）
 - ・ 出席役員の自己紹介および資料 58-01 に基づいて名簿の確認が行われた。
- 2) 今年度理事会体制と役員の分掌（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-02 に基づいて理事会体制と役員の分掌の説明がなされ、異議なく承認された。
- 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-03 に基づいて今年度の理事会の日程、進め方、その他の行事予定の説明がなされた。令和 5 年度の第 11 回通常総会は 5/23（火）の午後であり、建築会館を予約しているとの説明がなされた。

報告事項

- 1) 第 57 回理事会議事録（案）確認（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-04 に基づいて第 57 回理事会議事録の説明が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- 2) 第 10 回社員総会議事録（案）確認（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-05 に基づいて第 10 回社員総会議事録（案）の説明が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- 3) 臨時理事会議事録（案）確認（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-06 に基づいて臨時理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 4) 令和 4 年度事業計画（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-07 に基づいて本年度の事業計画について説明が行われ、異議なく承認された。
 - ・ 学会の活動は一定部分、研究委員会が背負うところがあるので、委員会活動を活性化させるために理事より関係各位を委員会活動へお誘いしていただくようお願いしたいとの意見が挙げられた。
- 5) 令和 4 年度予算（古屋理事）
 - ・ 古屋理事より資料 58-08 に基づいて本年度の予算について説明がなされ、異議なく承認された。
- 6) 会務報告（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-09 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 7) 会計報告（古屋理事）
 - ・ 古屋理事より資料 58-10 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 8) 総務部会からの報告（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 58-11 に基づいて総務部会の引き継ぎ事項について説明がなされた。
- 9) 広報部会からの報告（入江理事）

- ・ 入江理事より、部会引継ぎの過程で広報マニュアルの改訂という課題があると認識したので、今後進めていきたいとの報告がなされた。
- 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）
- ・ 多幾山理事より資料 58-13 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ メールニュース巻頭言について、今年度より就任された理事を中心に執筆を依頼する。
 - ・ 会員システムの開発がずれ込んだために、講習会・大会参加申し込みシステムの開発も後ろ倒しになっており、前回第 57 回理事会で報告したスケジュール通りになっていない。
 - ・ メールニュースへは、各学会の行事予定など IC 委員が見つけてきた内容を掲載しているのか、という質問があった。協賛しているなど学会の行事など要請があるものを掲載しているとのこと。そういった掲載基準であれば、資料 58-03 の「4.その他行事予定」はメールニュースへ掲載してほしいとの意見が挙がった。
- 11) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事）
- ・ 鳥澤理事より資料 58-14 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 英文による寄稿については、各種英文テンプレートを整備したということでは是非続けていただきたいとの意見が挙がった。会誌での英文記事をどのような形で会員が受け取るか、寄稿数をもっと増やしていくべきか、という点について、国際委員会の池田理事とも連携して、検討を進めて行くことをお願いしたい、との意見も挙がった。
- 12) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事）
- ・ 池田理事より資料 58-15 に基づいて、国際委員会、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。
- 13) 論文集編集委員会からの報告（能島理事）
- ・ 能島理事より資料 58-16 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 将来像検討 WG で議論のあった、発刊間隔の短縮は可能か、という質問があった。発刊数を増やすというよりは、来たものからどんどんストックしていくというイメージで語られたものと認識しており、この場合大幅な改修やコストアップに繋がる懸念から現状では発刊間隔の短縮は難しいと認識しているとのこと。
 - ・ プレプリントサーバー Jxiv に載っている論文を JAE 論文集の中で引用しても良いことにするのか、という質問があった。現在はプレプリントサーバーに投稿したものは受け付けないとしており、今後これを受け付けるかどうかは著作権ポリシーを変えることにもなるので、議論を進めている段階であるとのこと。
- 14) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事）
- ・ 近藤理事より資料 58-17 に基づいて、事業企画委員会（企画）の今年度の体制やオンライン講習会について報告がなされた。
 - ・ 前回の内容を今回の参加者も視聴できるサービスがあったのか、という質問があった。視聴できるサービスはあり、第 1 回講師の承諾を得た上で、視聴希望の有無で参加費を変える措置を採ったとのこと。また今後 JAE の意向により一般公開を検討する可能性があり、その際には改めて講師の先生方に公開のお伺いの連絡をさせていただくことにしているとのこと。
 - ・ オンライン講習会は会場に行く必要が無いこともあって非常に好評だと聞いており、是非、別の内容でも開催することを検討していただきたい、との意見が挙がった。
- 15) 2022 年度大会に関する報告（楠理事・市村理事）
- ・ 楠理事・市村理事より資料 58-18 に基づいて、2022 年度大会についての報告ならびに開催に関

する提案がなされた。

- ・ 開催方法、投稿料、参加費、発表形式、日程（大会は 12/15～12/16）について、提案通りの内容で承認された。
- ・ 同資料にて大会の実行委員会委員メンバーが提案され、承認された。
- ・ テンプレートを出来る限り論文集に合わせて大会の投稿をスムーズに論文集に繋げていただきたい、という意見が挙がった。

16) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 58-19 に基づいて、16JEES についての報告ならびに開催に関する提案がなされた。
- ・ 委託業者として「株式会社防災ログ」を第一候補とすることが提案され、承認された。
- ・ 企業出展料を 10 万から 15 万円に変更することが提案され、承認された。
- ・ 第 1 回の運営委員会は 7 月 1 日に開催予定。委員への委嘱状は事務局より発行済み。
- ・ 6 月 9 日の委託業者選定案検討会議の会務報告への追記をお願いしたい。

17) 将来構想委員会からの報告（東副会長）

- ・ 東副会長より資料 58-20 に基づいて、将来構想委員会の活動について報告がなされた。
- ・ 今後、将来の提言を今年度中にまとめるために、WG についてはメンバーに 1 年間の任期の延長をお願いし了承されている。WG・委員会連携して、最終的な提言を取り纏め理事会に報告するとともに、提言の最終案は広く会員にも紹介することを考えている。
- ・ 会員増の提言については会員担当理事など、提言の内容に応じて各担当の理事の皆様の実施に向けて動いていただくような形となる。担当の理事と話し合っ、提言が実現できるよう進めて頂きたいとの意見が挙がった。
- ・ 4 月 28 日の将来像検討 WG の会務報告への追記をお願いしたい。

18) スペシャルアドバイザー出張講演報告（小林理事）

- ・ 小林理事より資料 58-21 に基づいて、スペシャルアドバイザー出張講演（演者：安田進先生）について報告がなされた。

19) メール審議（2 件）結果報告（西村理事）

- ・ 西村理事より資料 58-22 に基づいて、メール審議（2 件）の結果について報告がなされ、異議なく承認された。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

議案

第 1 号 入退会者（小林理事）

- ・ 小林理事より資料 58-23 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者および退会者に関して、特に異議なく承認された。

第 2 号 委員会委員の委嘱（西村理事）

- ・ 西村理事より資料 52-24 に基づいて委員会委員の委嘱の説明がなされた。各委員の委嘱について承認された。
- ・ 修正追記があれば西村理事へ連絡することとなった。
- ・ IAEE の ND については、2 期 8 年務められた中埜先生よりそろそろ後任の方へのお話をいただいたので、清野会長・池田理事・総務理事・事務局で後任について今後検討していく。候補の推薦者が纏まり次第、理事会にて提案する予定。

第3号 共催・後援・協賛等（西村理事）

- ・ 西村理事より資料 58-25 に基づいて共催 1 件、後援 2 件、協賛 3 件が報告され、異議なく承認された。

第4号 新規研究委員会の設置（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 58-26 に基づき新規研究委員会（津波荷重評価の体系化の心得を取り纏める研究委員会）の設置について説明がなされた。
- ・ 新規研究委員会の設置は承認された。

懇談事項

1) 津波荷重体系化委員会成果報告会について（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 58-27 に基づき、「津波荷重の評価技術と体系化の心得に関する研究委員会」成果報告会（7 月 4 日）の開催計画について説明がなされた。現在既に約 50 名の申し込みをいただいおり、まだ 10 名程度申込可能とのこと。

2) 電子投票システムについて（山田理事、事務局）

- ・ 山田理事より、電子投票システムについて説明がなされた。
- ・ 5 月に理事・監事に協力いただき行った、新たに構築したオンライン投票システムを使った役員選挙の模擬投票の結果、問題なく同システムが運用されることを確認したことから、今年度から同システムを役員選挙に使うこととした。
- ・ 22 年の JAE の役員選挙は、6 月 6 日より立候補受付を開始している（HP でもサイトを立上げ周知済み）。今後、立候補締め切りが 6 月 30 日、電子投票サイトの公開・投票用紙の発送が 8 月 1 日、投票開始が同日、投票締め切りが 8 月 31 日、結果の報告が 9 月中、といったスケジュールで進めていく予定。

3) 防災推進国民大会 2022 の出展者公募について（池田理事、西村理事）

- ・ 池田理事より、防災学術連携体防災連携委員限定の研究会が 7 月 6 日に開催されることについて報告がなされた。
- ・ 西村理事より資料 58-29 に基づき、防災推進国民大会 2022 の出展者公募について説明がなされた。時期・準備状況を勘案し JAE として出展を見合わせるとの提案がなされ、承認された。

4) 地震学会との共同記念事業の窓口担当理事の選出について（東副会長、西村理事）

- ・ 東副会長、西村理事より資料 58-30 に基づき、一般公開セミナーについて説明がなされた。
- ・ 上記セミナーを共同記念事業として日本地震学会と共催することが提案され、承認された。
- ・ 本共同記念事業の窓口担当理事を、市村理事が担当することが提案され、承認された。
- ・ 市村理事の任期が 22 年度までなので、23 年度の窓口担当理事（後任）については引き続き検討し、事業（大会）担当理事（楠理事）にご依頼することを選択肢として考えておくこととなった。

5) 学生会員研究室パック割および賞の副賞創設案について（西村理事）

- ・ 西村理事より資料 58-31 に基づき、学生会員研究室パック割および賞の副賞創設案について説明がなされた。
- ・ 研究室パックの制度について、2022 年度大会には間に合うのか、という質問があった。定款まで変える必要はないが、会員規則の中で学生会員の会費の記述があるので、理事会の議決で定めて変更し、来年度の社員総会にて報告（理事会で議決した旨）するイメージとなる。
- ・ 学生会員の個々の意思により任意に入退会できるのであれば、定款の変更は必要ないと考えられる。この場合、この制度を反映して改訂した規則が理事会で承認されればその時から適用で

き、社員総会では報告事項となる。ただし、会員期間の1年、2年、3年の選択制は、事務局の会員管理、会計処理が煩雑になる。

- ・ 支払い金額が1年、2年、3年の3つの選択制になっている理由は、という質問があった。学年によって必要期間が異なるので、1～3年の選択肢が設けられている。誰かが一括して支払って（研究費かどうかは問わない、教員は含まれない）、期限が来たら正会員に勧誘する前提で自動退会となることで、学生の入会を容易にしようとする提案である。
- ・ 仮に研究室バック割り制度を年度途中で規則改訂した場合は、アナウンスはメールニュースやウェブで行うことになり、会員全員に報告できるのは翌年の社員総会となるので、会員によって知るタイミングが異なることが無いように配慮が必要、との意見が挙がった。
- ・ 以上の議論を踏まえると、研究室バック割り制度については拙速には決められない事項であるため、将来構想委員会のシルバー会員の検討とも絡めて、まずは総務理事と事務局で、もう少し幅広く検討し、継続審議とすることとなった。
- ・ 賞の副賞創設案については、インセンティブになるので良い制度であるが期限付きではなく恒久的に出来ないか、という意見が挙がった。
- ・ また、受賞に会員資格を問うかについては、会員継続のインセンティブになる一方で会員に限定することで本当に優れた論文が表彰対象から除外されるようなことになってはいけないので慎重に検討しなければならない、という意見が挙がった。また、公益社団法人となつてからは表彰事業を申請する際には会員に限定せずオープンに対象者を選定することになったことにも配慮して本件検討する必要があることを確認した。
- ・ 副賞を論文賞・奨励賞に限らずに、それ以外にも贈呈してはどうか、という意見が挙がった。予算をどう捻出するかが課題となるが、賞ごとに賞品を変えて設定するなど表彰の考え方次第で贈呈は可能であると考えられる。
- ・ 以上の議論を踏まえ、賞の副賞創設案についても、継続審議とすることとなった。

6) 今後の予定について（西村理事）

- ・ 西村理事より資料 58-32 に基づき、今後の予定について説明がなされた。
- ・ 今年6月、12月に英語論文集が発刊されるので、その予定を追記することとなった。
- ・ 本年11月にアジア地震工学会議が台湾で開かれる。次回2024年の日本開催の打診が来ており、開催受諾の適否を次回の理事会の懇談事項に挙げることとなった。次回 WCEE 開催の年とも重なるのでそういった点も含め、検討することとなった。

次回予定：第59回理事会 8月2日（火）16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 清野 純史

監事 五十田 博

監事 末富 岩雄